

十勝岳の火山活動解説資料（平成24年10月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

地震活動、噴煙活動ともに概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、2006年以降、62-2火口直下浅部の膨張を示す地殻変動が続いていますので、火山活動の推移に注意してください。

平成20年12月16日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴煙などの表面現象の状況（図1-①～④、図2～5）

大正火口の噴気の高さは火口上100m以下で、2010年5月頃から噴気量がやや多い状態が続いています。62-2火口の噴煙の高さは火口縁上100m以下で、噴煙活動は低調に経過しました。

3日に国土交通省北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。大正火口の噴気量は62-2火口の噴煙量に比べやや多い状態でした。地形変化等の火口の状況や地熱域¹⁾の状況の詳細は雲のため確認できませんでした。

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・ 地震及び微動の発生状況（図1-⑤～⑧、図6）

火山性地震は少なく、地震活動は概ね低調に経過しました。震源は62-2火口付近のごく浅い所のほか、グラウンド火口周辺や旧噴火口付近の浅い所に分布しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図7～8）

GPS連続観測では、2006年以降、前十勝観測点において62-2火口浅部の膨張を示すと考えられる変動が認められていますが、今年4月頃からその変動は鈍化してきている可能性があります。

なお、より深部の地殻変動を示す変化はありません。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

※ 資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、北海道大学、北海道地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所及び独立行政法人産業技術総合研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

次回の火山活動解説資料（平成24年11月分）は平成24年12月10日に発表する予定です。

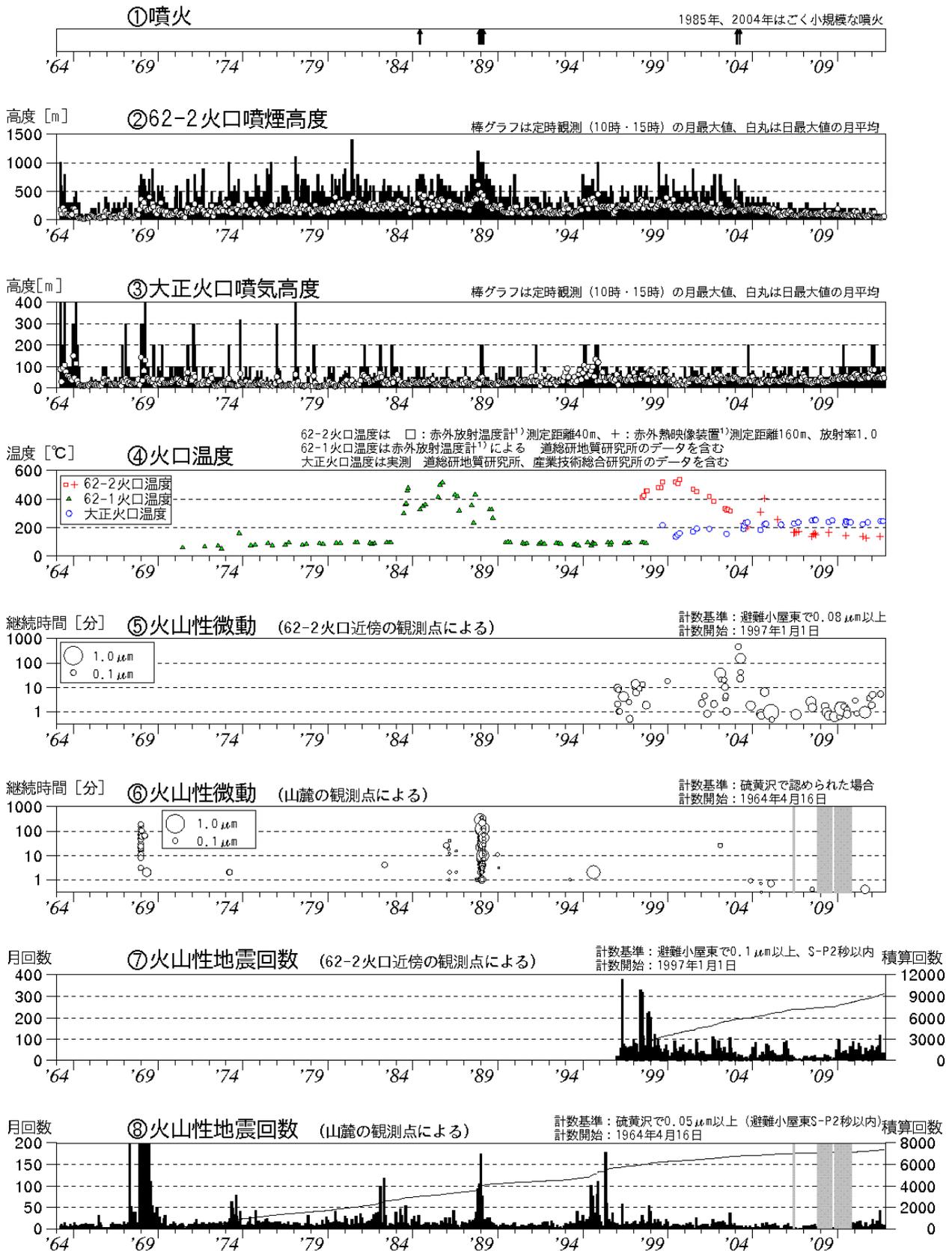


図 1※ 十勝岳 火山活動経過図 (1964年 1 月～2012年 10 月)
⑥⑧: 灰色の期間は機器障害のため欠測しています

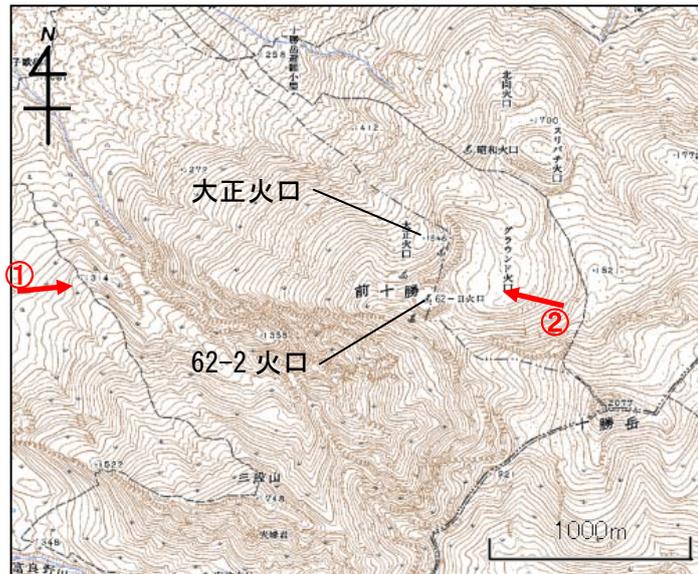
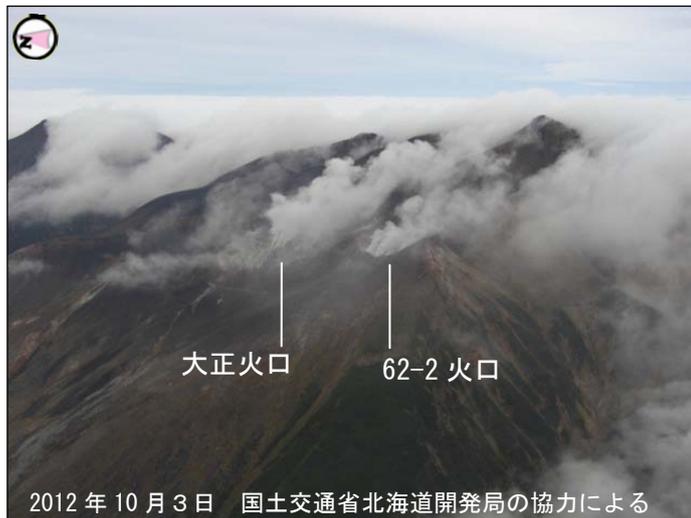


図 2 十勝岳 火口周辺図 (矢印は写真の撮影方向)



2012 年 10 月 3 日 国土交通省北海道開発局の協力による

図 3 十勝岳 大正火口及び 62-2 火口周辺の状況 (西側上空、図 2-①より撮影)



2012 年 10 月 3 日 国土交通省北海道開発局の協力による

図 4 十勝岳 大正火口及び 62-2 火口周辺の状況 (南東側上空、図 2-②より撮影)



図5 十勝岳 山体北西側の状況 (10月27日、火山観測所遠望カメラによる)

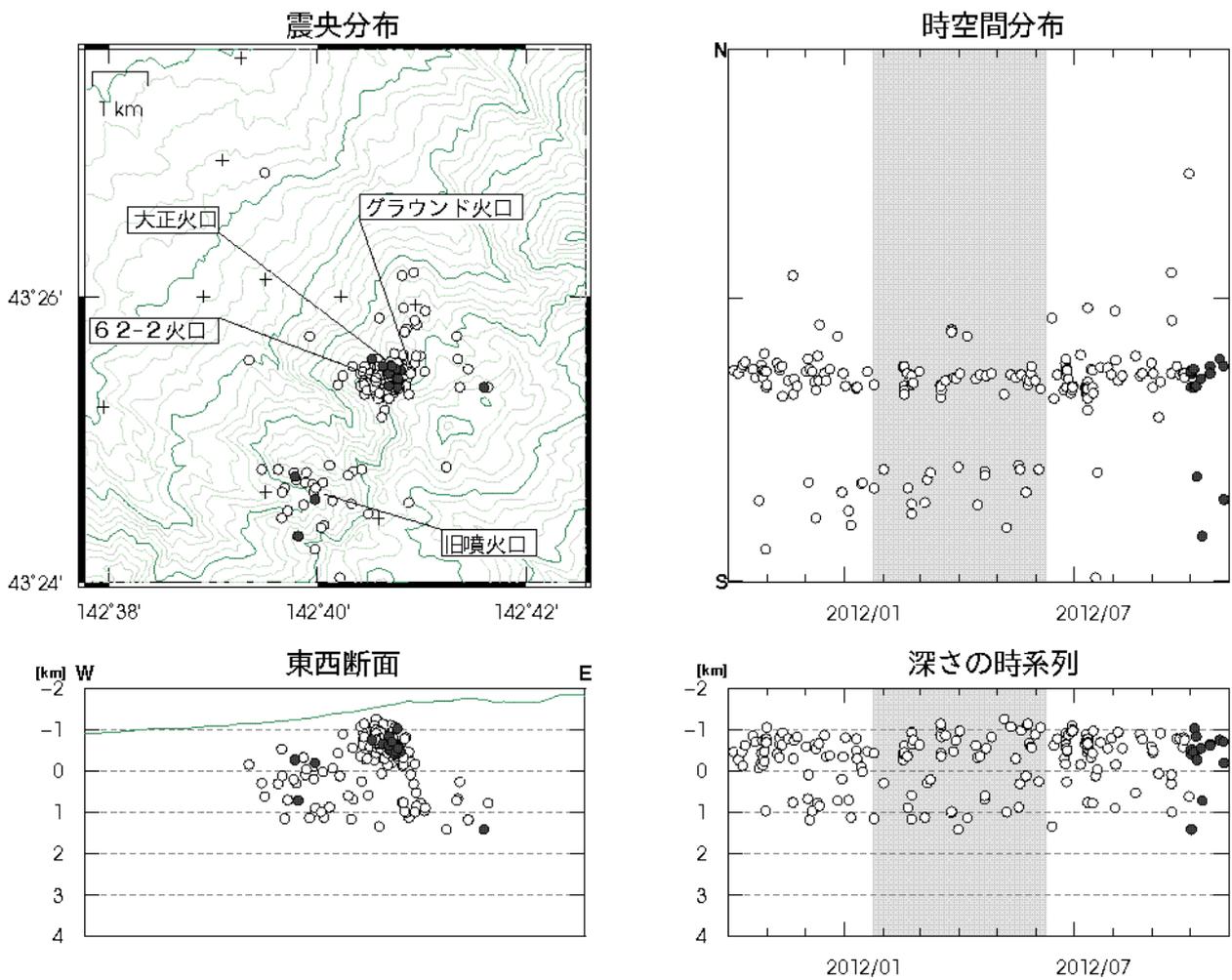


図6※ 十勝岳 火山性地震の震源分布 (2011年10月～2012年10月)
 灰色の期間は一部観測点欠測のため震源の決定数減少や精度低下が見られます
 ○印：2011年10月～2012年9月の震源
 ●印：2012年10月の震源

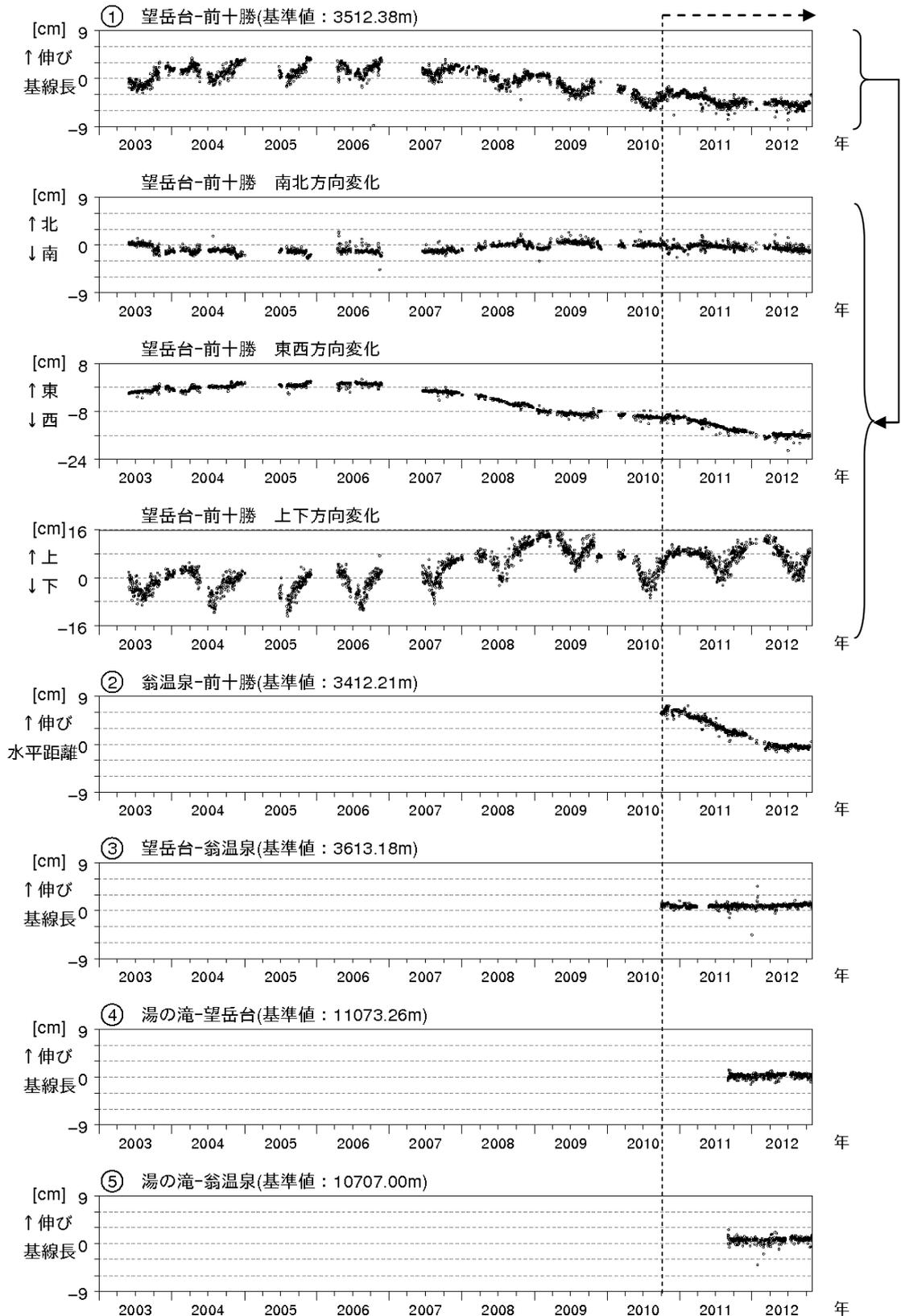


図7※ 十勝岳 GPS連続観測による基線長変化 (2003年1月~2012年10月)
 ・グラフの空白部分は欠測 GPS基線①~⑤は図8の①~⑤に対応
 ・2~4段目のグラフは①の3成分変化
 ・2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています

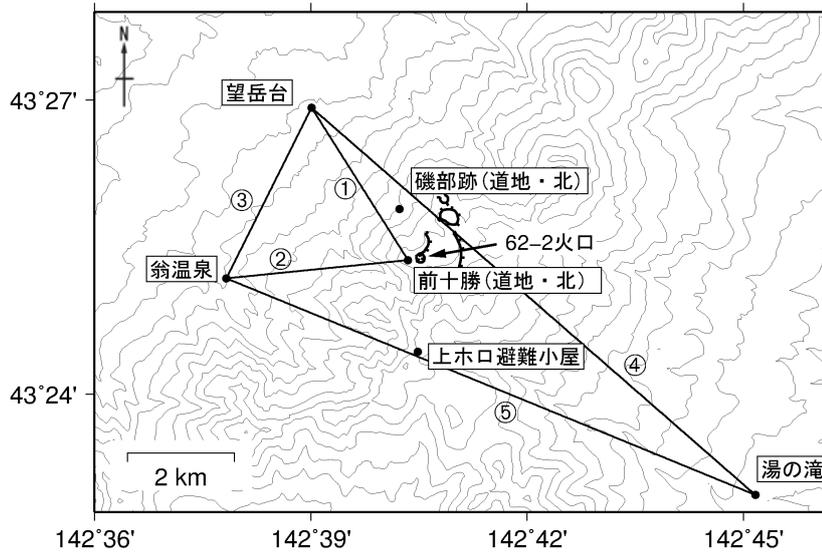


図 8 十勝岳 GPS連続観測点配置図

(北) : 北海道大学

(道地) : 地方独立行政法人北海道立総合研究機構
地質研究所

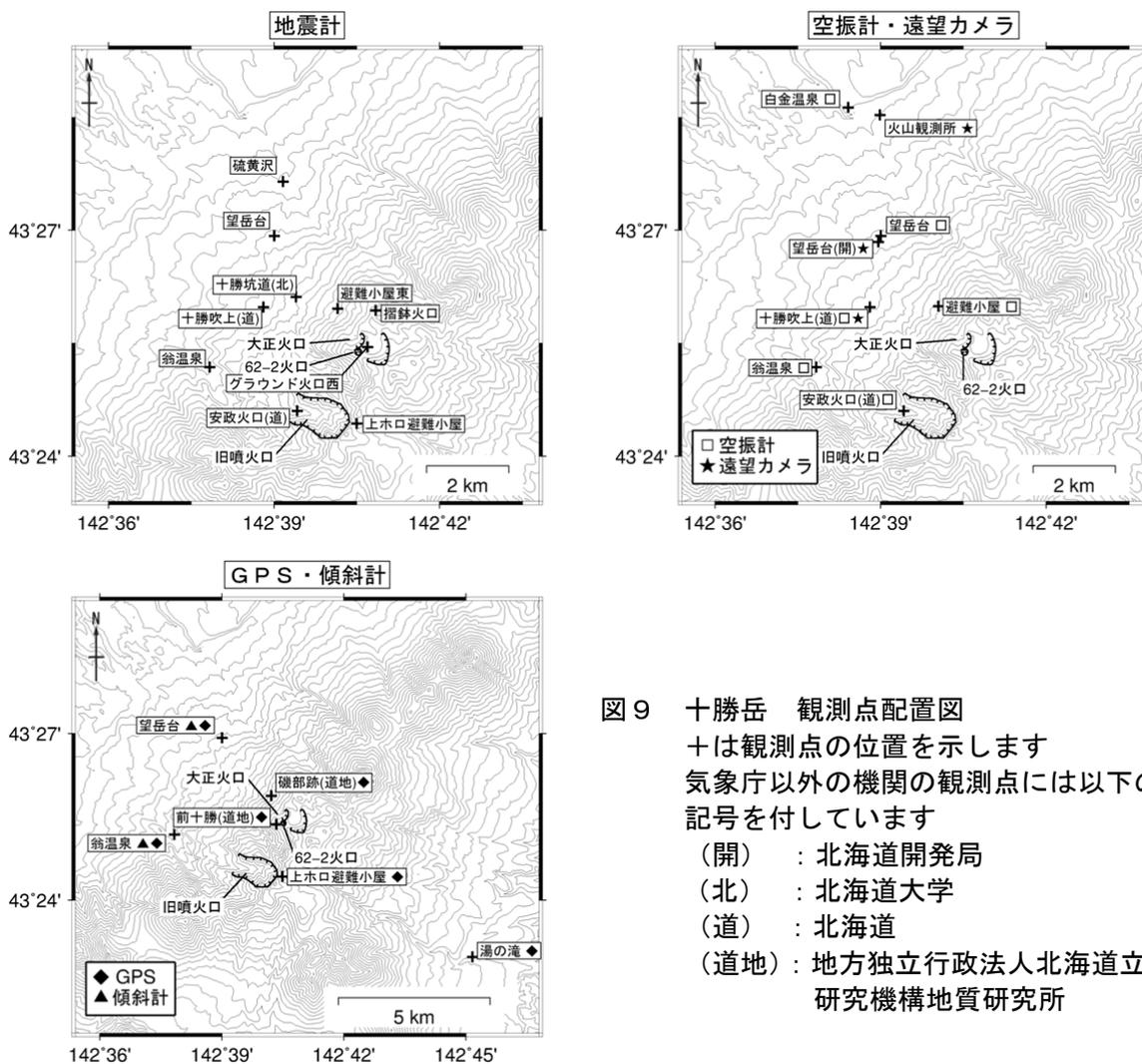


図 9 十勝岳 観測点配置図

＋は観測点の位置を示します

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています

(開) : 北海道開発局

(北) : 北海道大学

(道) : 北海道

(道地) : 地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所